

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成21年11月11日	
		作成部署	建設交通部 河川課	
事業名	弥陀次郎川 総合流域防災事業		地区名 京都市伏見区桃山町大島地先 ～宇治市五ヶ庄北ノ庄地先	
概算事業費	31億円	事業期間	平成2年度～平成36年度	
事業概要	当該河川は市街地を流れる都市河川であるが、大半が天井川で洪水疎通能力が小さく、現況の治水安全度が極めて低いため、天井川の切り下げ、河道拡幅等による改修を行う。(L=760m)			
目指すべき環境像	当該河川は市街地を流れる都市河川であり、特に特筆すべき自然や景観は存在していないが、現状の河川環境・景観の維持に十分配慮した河川整備が必要である。			
関連する公共事業	直轄河川改修事業(宇治川)			
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点	選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO <sub>2</sub> 排出量等)	—	当該河川は住宅街を流れる天井川であり、コンクリートによる3面張りである。改修により、河床を土とする2面張りとする。  河川改修時には、堤防に生える樹木の伐採を最小限にとどめるなど、現況と同様の植生が回復するように配慮する。	—
	地形・地質	○		3
	物質循環(土砂移動)	—		—
	野生生物・絶滅危惧種	—		—
	生態系	○		3
	その他	—		—
生活環境	ユニバーサルデザイン	—	当該河川は市街地を流れているが、大半が天井川で洪水疎通能力が小さく、現況の治水安全度が極めて低くなっていることから、河川改修を実施し、地域の生活環境改善に努める必要がある。 また、事業実施に伴い発生する建設廃棄物の低減に努める。 また、住宅に近接しているため、工事にあたっては騒音・振動への配慮を行う必要がある。 さらに、安全・防犯面への配慮も行う必要がある。  河川改修を実施することにより、浸水被害の解消が期待できる。 さらに天井川の切り下げにより、身近な川となることが期待できる。 掘削発生土は埋め戻しや築堤に再利用を図るなど、処分する建設廃棄物の低減を図る。 工事にあたっては、低騒音・低震動型の施工機械を採用する。 管理用通路については、プライバシーや防犯面への配慮を行う。	—
	水環境・水循環	—		—
	大気環境	—		—
	土壌・地盤環境	—		—
	騒音・振動	○		3
	廃棄物・リサイクル	○		3
	化学物質・粉じん等	—		—
	電磁波・電波・日照	—		—
その他	○	3		
地域個性・文化環境	景観	○	当該河川は市街地を流れる都市河川であり、住宅が河川に近接している。 河川改修にあたっては、河川周辺の景観に配慮する必要がある。  河川改修にあたっては、河床および堤防天端を土砂として現況と同様の植生が回復するように配慮する。	3
	里山の保全	—		—
	地域の文化資産	—		—
	伝統的行祭事	—		—
	地域住民との協働	—		—
	その他	—		—